

8月25日(木)に開催されました「ALL 岐阜で取り組む産後ケア～多職種連携のための研修 2022～」にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

事前に頂戴した事業に関するご質問について、岐阜県と本会からの回答は次のとおりです。

■質問1

本市では基本的に出産後に産後ケアの利用申請をして頂いてますが、利用者の負担や迅速なフォローの面で妊娠中の申請も視野に検討しています。ガイドラインでは「市町村がアセスメントし決定した上で」とありますが、出産前に申請を受け付けている自治体もあるかと存じます。妊娠中からの産後ケアの利用申請をする事、またその際のアセスメントについて、どう考えたらよろしいでしょうか？

◇回答

妊娠届出時の面接の他、妊娠中の関わりの中で、初産婦であり産後に育児を手伝ってくれる人がいないなど、産前から産後ケアが必要と考えられる妊婦や、「産後ケアを利用するかもしれない、した方が良くないかもしれない」と保健師が考える対象者がいると考えられます。「産後、利用すべきタイミングで遅滞なくケアを受けられるようにする準備」として産前にアセスメント・情報収集をすることが重要と考えています。

■質問2

産後ケアの線引きが難しいと思います。お母さんの困っていることを解決したいのですが、例えば昼寝をしたいので赤ちゃんを見ててくださいなど、要望があった際、どうしたらよいか、と思います。

◇回答

産婦の疲労が強い場合、次回からは休養がとれるショートステイ型のサービスに切り替える等の対応をとる必要があるため、市町村に相談いただくのが望ましいと考えます。

■質問3

県助産師会委託産後ケアの実績、行政との連携状況について知りたいです。

◇回答

今年4月の事業スタートから7月までの訪問件数と、依頼を受けて産後ケアを実施した自治体の数は下記の通りです。6月に交流会を実施し、その後、産後ケアの依頼が増加しました。助産師会担当地区理事や事務担当者への業務や請求等に関する問合せなども届くようになり、その都度電話対応をおこなっています。〔助産師会回答〕

	訪問件数（累積）	依頼を受けて産後ケアを実施した自治体の数
4月	13（13）	4
5月	7（20）	3
6月	7（27）	4
7月	19（46）	9

■質問4

産後ケアと産前ケアで共通していることはありますか？

◇回答

「産前ケア」はどういったことを想定されているのでしょうか？産前からのケアは、妊娠中の困りごとの軽減など、妊娠期を安心して過ごすためのサポートを指します（産前・産後サポート事業）。

質問ならび回答は以上